

秋田大学 男鹿なまはげ分校 活動報告



平成28年度

目次

分校長あいさつ	秋田大学男鹿なまはげ分校長 茂木 優	1
平成28年度活動実績		
交流人口の増加	2
地域教育力の底上げ	4
市民の健康生活をサポート	7
アンケート・感想	11

分校長あいさつ

県央地域における地域貢献活動の拠点として男鹿市に「男鹿なまはげ分校」を開設して5年目に入りました。

男鹿なまはげ分校は、地域からの要望や課題を的確にくみ取り、地域の振興と発展、本学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動しております。

平成28年度は、男鹿市の交流人口を増やす取り組みとして、首都圏大学の体育系クラブである拓殖大学フェンシング部の合宿を誘致することに加え、秋田県国体候補選手(高校生)及び東北タレント発掘事業参加選手(中学生)との合同競技会を実施しました。

さらに、中高年を対象とした「ニコニコ体操塾」、児童生徒の医学部訪問、理科実験教室など、秋田大学生とも積極的に交流を深める事業に取り組みました。

今後も、男鹿市の豊かで魅力的な自然・温泉・祭り・食などの観光資源を活用した情報発信強化により誘客増を目指すとともに、男鹿なまはげ分校を通じた本学の学生力も活かし、地域の活性化につながるよう市民の皆様とともに活動してまいります。



秋田大学男鹿なまはげ分校長 茂木 優

活動方針

男鹿市と秋田大学においては平成23年2月17日連携に関する協定を締結しました。それぞれの資源や機能活用を図りながら幅広い分野で相互に協力し地域社会の発展を目指すという主旨で、具体的な連携協力事項として、ジオパーク活動を通じた地域振興と、秋田大学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを掲げ活動を展開してきました。

こうした活動を一層力強く前進させるため、男鹿市役所本庁舎内に地域活性化に向けた活動拠点として『男鹿なまはげ分校』を開設し、地域のニーズをふまえ再構築した『交流人口の増加と、地域教育力の底上げ』を基本コンセプトに、首都圏大学の文化系・体育系クラブの宿泊合宿誘致、学生力を活用した児童生徒の自学自習支援、児童生徒の医学部訪問によるキャリアモチベーションアップ、大学教員講座を織り交ぜた市民の健康づくりをサポートする総合的体操教室等、地域の活性化に寄与する様々な活動を地域の皆様や行政と協働で実践してまいります。

平成28年度活動実績

交流人口の増加

地域活動の中心となる若者層が少ない中、学生が地域で活動することへの期待が大きくなっている。また、男鹿市における発進力と受信力を高めることで「男鹿市の応援団・心の男鹿市民」を増やしたいという首長の強い思いに応えるため、首都圏の大学に働きかけ男鹿市内でのスポーツ合宿を誘致した結果、平成27年度に男鹿市と日本体育大学が体育・スポーツ振興に関する協定を締結した。

今後も合宿誘致を強力に進めるとともに、秋田大学生との連携や、地元高校生や市民との交流も視野に入れた取り組みを目指す。

■首都圏大学宿泊合宿誘致

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

拓殖大学フェンシング部夏季合宿

実施日 平成28年8月5日(金)～8月11日(木)6泊7日

会場 男鹿市総合体育館

宿舎 磯乃家旅館

参加人数 拓殖大学フェンシング部 11名、高校生・中学生 51名

大学の夏季休業期間に合わせた拓殖大学のフェンシング部による夏季合宿を男鹿市で実施した。

秋田県国体候補選手(成年・高校)との合同合宿及び、東北タレント発掘事業(中学生)との合同競技会を行い、秋田の若い世代にとっても大きな刺激となった。

首都圏大学の体育系クラブの合宿誘致により、男鹿市の交流人口増大を進め、男鹿市民の意識の高揚、男鹿市の知名度アップ、地域経済の活性化につなげていきたい。



■安全寺里山保全会事業への協力

安全寺里山保全会主催事業

平成26年度から始まった事業であり、男鹿市安全寺地区の住民で組織する「安全寺里山保全会」が、里山の美田オーナーを募り、田植え・稲刈り交流会を開催している。今年度は5月29日と10月2日に計16名の学生が、農作業体験や交流会を通じ、里山の田んぼを保全していくサポーターとして参加した。

本学学生がこの事業に参加する目的は、次の2点である。

- ① 若い力（学生力）が躍動する姿で地域住民に一層の元気をもたらす。
- ② 交流人口増加に貢献する。

実施日 平成28年5月29日(日)、10月2日(日)

会場 男鹿市安全寺地区

参加者 本学学生 計16名

その他一般参加者及び関係者（男鹿市、地元住民）

田植え約130名、稲刈り約160名



地域教育力の底上げ

秋田大学のもつ豊富な教育研究資源と学生力を提供し、子どもたちが医学・科学などに対する興味・関心を高める取り組みや、子ども自身が具体的な将来像を描くことで学習意欲を高める取り組みを展開した。

■児童生徒の医学部訪問事業 ～男鹿なまはげ学校～

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成28年8月1日(月)

会場 秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター

講師 秋田大学大学院医学系研究科 教授 安藤 秀明

医学部医学科学生6名

内容 採血・縫合・腹腔鏡手術等の模擬体験

医学部医学科学生との質疑応答による交流

参加者 男鹿市内小学生9名, 中学生5名

将来の職業として医師を目指す子どもや医療機関での仕事に興味のある子どもが、より具体的な形で夢の実現に努力できるよう、男鹿市教育委員会との共催事業として昨年度に引き続き実施した。

男鹿市内の小中学校から希望者14名が参加し、人体を忠実に再現したシミュレータを用いた心臓マッサージや、腹腔鏡シミュレータを用いた模擬手術体験などによって先端機器に触れるとともに、指導にあたった医学科学生とも交流を深めた。

参加した児童生徒からは、「医師が身近に感じられ、今頑張れば医師になれるのではと思った。」「医師や看護師になるために大切なことを知ることが出来た。」などの感想が寄せられた。



■わくわくドキドキ理科実験教室 ～秋田大学の一日出張実験室～

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成28年8月7日(日)

会場 男鹿市立船越小学校体育館

指導 秋田大学大学院理工学研究科 准教授 加藤 純雄

講師 小笠原 正剛

指導補助 秋田大学生 20名

参加者 男鹿市内小学生 94名

秋田大学の一日出張実験室として、身の回りにある物を使用した実験や実験観察を通じ、子どもたちの理科への興味を高め、探究心を育ていこうと、昨年度に引き続き開催した。

会場には各ブースを設置し、液体窒素を使った凍結実験、花火の色を再現した金属の燃焼実験、備長炭を用いた電池づくりなど、様々な実験を行った。

開会後と閉会前には小笠原講師による科学実験ショーも実施するなど、実験を通して科学とふれあい、学生との交流も図られる良い機会となった。

参加した小学生からは、「実験がいっぱいあって楽しかった。」「はじめて知った事が多かった。」などの感想が寄せられ、ダイナミックな実験や身の回りの物質を使ったもの作りに、科学への興味・関心が大きくなっている様子だった。



■男鹿市全中学校での学習講演会

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成28年9月21日(水), 26日(月)

会場 男鹿市立男鹿北中学校, 男鹿市立男鹿南中学校
男鹿市立男鹿東中学校, 男鹿市立潟西中学校

講師 秋田大学教育文化学部3年次 伊藤 真弥(男鹿東中学校出身)

演題 夢に向かって努力することの大切さ

参加者 市内中学3年生 185名

中学3年生の学習意欲を喚起するとともに、将来の自分の姿を見据えた学校生活を送ることができるように、男鹿市内全中学校において学習講演会を開催した。講師は、中学生がよりイメージしやすいように、近い存在である男鹿市出身の秋田大学生を講師として実施した。

「夢に向かって努力することの大切さ」と題した講演では、なぜ勉強しなくてはいけないのか、目標をもつことの意義などとともに、おすすめの勉強法や夢のを見つけ方などについて、数年前まで中学生だった立場からわかりやすい言葉で伝え、中学生たちも高校・大学と今後の自分の進路のイメージを膨らませていた。参加した生徒からは、「夢をかなえるには、努力が一番の近道だと改めて分かった。」などの感想が寄せられた。



■ 中学準備教室

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市教育委員会 共催事業

実施日 平成29年3月16日(木)、17日(金)
会場 男鹿市立男鹿北中学校, 男鹿市立男鹿南中学校
男鹿市立男鹿東中学校, 男鹿市立潟西中学校
講師 秋田予備校教員, 秋田大学生10名
参加者 市内小学6年生42名

この春中学校へ進学する男鹿市内の小学校卒業生を対象に、近い将来のモデルとなる大学生からの学びを通して、中学校生活への関心や意欲を高め、中学校生活や授業へスムーズに移行できるようにすることを目的に実施した。

秋田予備校の講師が行う光通信講座において講座の進行スピードについていけない児童のサポートや、問題の答え合わせ及び解説を行い、最終日に設けられた学生と児童の懇談の時間では、児童たちの中学校生活についての不安や疑問に対して、自身の中学校生活での体験も交えて答えていた。

参加した生徒からは、「分からなかった問題が分かった。」「中学校でも頑張ろうと思った。」との感想が寄せられた。また、参加学生からは、「子どもと関わる面白さを改めて感じる事が出来た。」「家庭学習の意義を考え直すきっかけともなった。」などの感想があり、学生たちにとっても貴重な経験となった。



市民の健康生活をサポート

秋田大学の良質な教育資源を活かし、超高齢社会を迎えた中においても教養を高めつつ、心身ともに健康で豊かな生活を送るための支援を行った。

■メンタルヘルスサポーターフォローアップ研修会

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

実施日 平成 28 年 4 月 27 日(水)
会場 男鹿市民ふれあいプラザ ハートピア
講師 秋田大学副理事(国際担当) 高橋 康弘
演題 「メディアと自殺予防」
参加者 メンタルヘルスサポーター 38 名

男鹿市では、県・市いずれかの養成講座を修了した 137 名のメンタルヘルスサポーターが登録をしており、そのサポーターのスキルアップや情報交換を目的として男鹿市と共催で研修会を行った。

今回の研修では男鹿市の自殺率が県内平均より高めに推移していること、その中でも 60 歳以上の自殺率が男鹿市全体の 7 割を占めるほど高い現状であることを考え、「高齢期の自殺予防」について、講演を行った。



■ニコニコ体操塾

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブ 共催事業

男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブが実施している市民向け体操教室に、秋田大学教員による生活に身近なテーマを取り上げた講座や健康寿命の延伸を目指した運動講座を新たに組み入れ、総合的体操塾へとバージョンアップし実施している。

実施日 毎週水・木・金曜日
会場 男鹿市若美公民館(水曜開催)
男鹿市船川北公民館(木曜開催)
男鹿市船川港公民館(金曜開催)
講師 男鹿市ニコニコ元気アップ体操クラブ 会長 坂本 金善
参加者 クラブ会員を中心に各回 10~30 名

《スローエアロビック講座》

男鹿市民の健康寿命の延伸を図ることを目的として、ニコニコ体操塾のひとつの講座として開催した。

スローエアロビックは、誰もが知っている身近な音楽を使って行う身体にやさしい運動で、子どもたちの運動不足解消や一般成人の体調維持、中高年の健康寿命延伸にも有効なエクササイズとして実施した。

実施日時 男鹿市若美公民館 平成 28 年 6 月 22 日(水)

男鹿市船川北公民館 平成 28 年 7 月 28 日(木)

男鹿市船川港公民館 平成 28 年 6 月 24 日(金)

講師 秋田県エアロビック連盟 理事 難波 淳子

参加者 クラブ会員を中心に市民 約 40 名



《笑いヨガ講座》

スローエアロビック講座と同様に、男鹿市民の健康寿命の延伸を図ることを目的として、ニコニコ体操塾のひとつの講座として開催した。

笑いの体操と、ヨガの呼吸法をあわせているところから「笑いヨガ」と呼ばれており、酸素がたくさん取り入れられ、健康と活力が実感できる体操である。グループで笑っていると、おもしろくなくてもだんだん楽しくなるので、無理なく続けられる運動となっている。

実施日 平成 28 年 5 月 11 日(水)～平成 29 年 2 月 24 日(金)

【月 1 回程度計 10 回開催】

会場 男鹿市若美公民館(水曜開催)

男鹿市船川北公民館(木曜開催)

男鹿市船川港公民館(金曜開催)

講師 「笑いヨガ」認定ティチャー 漆崎(伊藤) 晴美

参加者 クラブ会員を中心に市民 約 40 名



■閉じこもり予防教室

秋田大学男鹿なまはげ分校・男鹿市 共催事業

男鹿市の自殺率は、秋田県と比較して高めに推移している。そのなかにおいて60歳以上の自殺率は男鹿市全体の7割を占めるほど高い現状である。

地域全体で高齢期の心身の健康について学習し実践することで、社会的交流の促進と孤立予防を図り、住み慣れた地域でその人らしい生活の継続につなげていく。

これらの目的を達成するために、平成28年度は高齢期に現れやすい運動器の衰えや認知症に焦点をあて、学習・実践活動を実施した。

《セルフケア講座》

一般介護予防事業としての基盤となるような高齢期の総合的な健康づくりを目的とし、生活習慣病予防・筋力向上・認知症予防・閉じこもり予防など機能向上のメニューを学習し、自らの健康を自己管理できる機会をつくるために開催した。

実施日 平成28年5月12日(木)～平成28年10月25日(火)【計6回】

会場 男鹿市保健センター

講師 秋田大学附属病院

秋田大学大学院医学系研究科

助教 小山 崇

助教 猪股 祥子

助教 藤田 智恵

助教 津軽谷 恵

助教 久米 裕

助教 佐藤 亜希子

参加者 市民 合計52名



《認知症講座》

高齢期の心身の健康について考え、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続することや、地域の社会的交流の促進、孤立防止を図る事を目的として、男鹿市と協働での取り組みを行った。各月の教室のテーマのもと、市保健師の血圧測定及び健康相談を実施し、秋田大学教員による講座等を開催した。

実施日 平成 28 年 6 月 16 日(木)～平成 29 年 2 月 16 日 (木)

【毎月 1 回程度 計 10 回】

会場 男鹿市男鹿中公民館
男鹿市北浦市民センター

講師 秋田大学大学院医学系研究科

助教 猪股 祥子

助教 藤田 智恵

助教 津軽谷 恵

助教 久米 裕

助教 佐藤 亜希子

参加者 市民 合計計 75 名

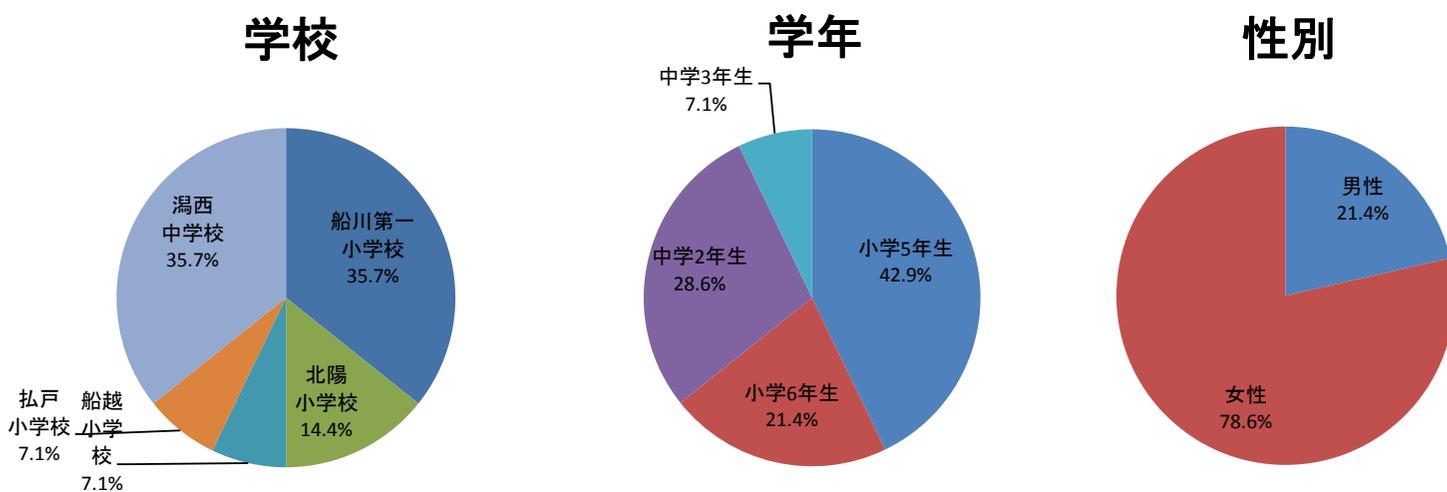


「男鹿市児童生徒の医学部訪問事業」 アンケート集計結果

配布数	回収数	回収率
14	14	100%

開催日時
平成28年8月1日(月)10:00~14:15

1. 学校・学年・性別



	船川第一小学校		北陽小学校		船越小学校		私戸小学校		潟西中学校		性別の合計	構成比
	5年生	6年生	5年生	6年生	5年生	6年生	2年生	3年生	2年生	3年生		
男	2名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	3名	21.4%
女	2名	1名	1名	1名	0名	1名	4名	1名	11名	78.6%		
学校別	5名		2名		1名	1名	5名		14名	100.0%		
構成比	35.7%		14.4%		7.1%	7.1%	35.7%		100.0%			
	小学5年生		小学6年生		中学2年生		中学3年生		合計		性別の合計	構成比
	5年生	6年生	5年生	6年生	2年生	3年生	2年生	3年生	2年生	3年生		
学年別	6名		3名		4名		1名		14名	100.0%		
構成比	42.9%		21.4%		28.6%		7.1%		100.0%			

2. 「シミュレーション教育センター見学」を通して感じたことや考えたことを書いてください。（※原文のとおり）

ダミー人形から血をとったり指をかまれたりした。
さいけつやゲームが楽しかったです。
さいけつなどが、とてもむずかしかったけど、とても楽しかったです。
ちゅうしゃきを人にさすのがむずかしかったです。さし方で、むきが逆だったり、指のおき方だったりむずかしかったです。
・ふくくう鏡手術が大へんだったから手先が器ようでなくてはいけないなと思った。 ・さい血で血管をさがすのが大へんだった。
ちゅうしゃがむずかしかった。 しゅじゅつのゲームがむずかしかった。
ゲームのような物を使って勉強しているのに少しおどろきもありました。今の物は人間の中のように作られた物や人間のような人形を使ったのが今はすごいなと思いました。
自分で体験して学んでいてとてもおもしろそうだなと思いました。楽しく勉強ができるんじゃないかなと思いました。

採血をやる時さす所や深さを意識しないといけないと分かりました。

私がいちばん印象に残っていることは採血の模擬体験をしたことです。今年学校で貧血検査があり、採血は意外と最近にやったことだったので、採血をやる方はどんな感じなのかわからなかったので今回やってみて感じたことはさまざまな人がいるので血管が見えにくい人のときはとても大変で難しかったことです。

腹くう鏡手術の体験では、奥行きや感覚をつかむのがとても難しかった。採血では、針が血管の手前だったり血管をかんつうしたりして難しかった。エコーを使って腹の中を見る体験では、臓器の形や位置など病気について分かれて、勉強になった。

消しゴムを機械で組み立てるのがなかなか穴に入らず、難しかった。採血では、血管を見つけるために、手で強く押ししたり、針をさす深さを考えたりした。エコーでは固いところは白いということが分かった。

採血をやって、採血をするときは、安心できるような声かけをすることを大切だと分かった。モニターを見ながら、手で小さい消しゴムをくっつけることは、とても難しかったし、いい経験になりました。

実際の医療現場では、人間相手なので、その時失敗しないようにシミュレーションをしていることがわかった。すごく集中力がなくて真剣にとりくまなければいけないことが身をもってかんじることができた。

3. 「医学部生との交流」を通して感じたことや考えたことを書いてください。（※原文のとおり）

ぼくはたぶん医しになれない。（はりをたくさんさしすぎた）

いろんな事をおしえてくれて大事なことを感じました。

医学部生などのスピーチを聞いて、きっかけなどをくわしく聞くことができました。

小学生低学年、高学年にきょうみをもっていたことがすごいと思いました。あと、体のしくみなどいろいろおぼえなきやいけないことがわかりました。

- ・意外と話がはずんで楽しかった。
- ・「目標をもってがんばる」という考え方がすごいと思った。
- ・とにかく学校のべんきょうをがんばる

にがてなきょうかにもむかっていく気持ちをかんじた。

小学生のころにあるいは中学生、高校生に医者にあたたい所や、人の役に立ちたいという思いで医学部に入った事を初めて知りました。みんなキッカケがあったと考えました。

今からやっておいた方がいいことや医者になろうと思ったきっかけを聞いてよかったです。何人が「人の役にたてる仕事したい」ということを言っていました。私もそう思っているのでかんごしになれたらいいなと思いました。

医学部の学生の人たちがどうして医学をめざしたのかを知るのがよかったです。質問を聞いてよりよく分かったことがありました。

夢を持ってそれに向かってがんばることが大切で夢を持つのは遅くてもいろんなことをがんばると医学部の人みたいになることができるということを知ることができました。

医学部学生のみなさんは、それぞれ様々な時期に様々なきっかけで医師を目指すようになっていて、私も勉強をがんばって看護師になれるようにしたい。だけど、勉強以外のことも大事だと聞いたので、部活や友達関係のことも思いっきり楽しみたい。

医者は、6年間、看護師は4年間学ぶことが分かった。どの教科も今後につながるがあると思った。それぞれなりたい医者があるので、私もそういう目標を見つけてがんばりたいと思った。

勉強は、もちろん大切で特にコツコツ勉強して、たくさん勉強したり、努力することは大切だと思いました。

明確な目標や目指しているものがあるのでそれに向かって、毎日コツコツ頑張っていることが分かった。一人で勉強するのではなく何人かで教え合うことでそれが自分に身に付くというのでそれを実せんしていこうと思う。

4. 今回の医学部訪問を通して学んだことを書いてください。(※原文のとおり)

<ul style="list-style-type: none">・命はたいせつ。・たくさんのぎじゅつが必要
ぎじ体験などをして、むずかしかったけど、これからも少しずつおぼえていきたいです。
しゅじゅつのやり方やちゅうしゃきのやり方などいろいろなやり方をおそわりました。今度じっさいにやってみたいです。
<ul style="list-style-type: none">・エコーの臓器がわかりずらかったから、覚えていければいいなと思った。
医学に興味をもてた。医りょう機械
今回の医学部訪問を通してみなさんはいろいろなキッカケを元に医学部に入ったんだと学びました。今がんばれば医者になれると学びました。
目標や計画を立てることが大切だということが分かりました。
医学のことについて細かく分かったことがあったのでよかった。
医師や看護師になるために大切なことを知ることができました。また、医学部の学生の人にインタビューで将来につながることを聞くことができたのでよかったです。インタビューを聞いて勉強の方法なども聞いたので少し改善してがんばっていきたいです。
体力が必要だということを学び、部活や運動をがんばり体力をたくさんつけたいと思った。臓器の名前や位置など、たくさんのことを覚えたいと思いました。
医学生は、それぞれなりたい医者があり、それに向かってたくさん勉強していることが分かった。私も、目標に向かってがんばれる人になりたいと思った。
一番大切だと思ったことは、課題を出されたらそれをやることと、目の前にあることをしっかりやることを学びました。まずは、自分の目標を見つけることをしたいです。
何事も、自分で目標、ルールを決めて取り組むことがわかった。自分に厳しく、様々なことに挑戦するのが大切だと分かった。

5. これからの生活にいかしてみたいことを書いてください。(※原文のとおり)

にがてなきょうかをかきたい
もっといろいろな事をしりたいです。
算数などの苦手な教科を大好きにしてみたいです。
勉強は、自分から進んでやるということをこれからもしっかりやりたいと思います。あと、ふくしゅうをいっぱいやりたいです。
<ul style="list-style-type: none">・コミュニケーション能力を高め、信らいされる人になりたい。
しっかりにがてな教科を勉強したい。
医学部訪問をして将来の夢がより具体的になりました。もしさい血などをする時などは、こんなにもむずかしいんだと考えたいと思いました。

自分から勉強をすることを心がけたいです。

勉強をたくさんする。もくひょうをもつ。

まず1つは夢を持つことをしっかりとしてその夢に向かって勉強をがんばっていけばいいと思いました。また、これからもこのようにたくさんを経験して将来につなげることができるようにたくさん活動に積極的に取り組みたいです。

今は目の前にある課題をみつめ、勉強も大事だけど、それ以外の部活などのこともこれから大切にしていきたい。看護師という夢を叶えるために、高校や大学に入れるように勉強もたくさん頑張っていきたい。

勉強する時間を増やし、まんべんなく勉強しようと思った。友達と教え合っておたがいを高め合っていきたい。

コミュニケーション能力や、礼儀などを日頃から身につけて、いざというときにも、しっかりできるように、今から、コミュニケーション能力や礼儀を身につけたいです。

今年受験なので、医学生の方の勉強法を参考にがんばりたいと思った。計画、目標をたて、将来のために頑張りたい。

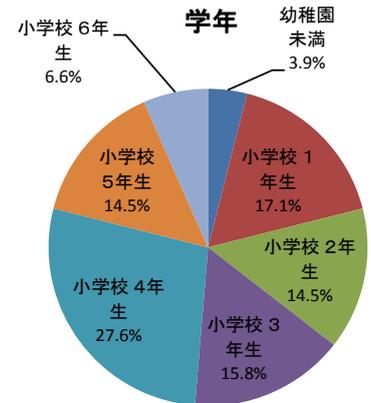
「わくわくドキドキ理科実験教室」 アンケート集計結果

配布数	回収数	回収率
80	76	95%

開催日時
平成28年8月7日(日) 10:00~12:00

1. 学年・性別

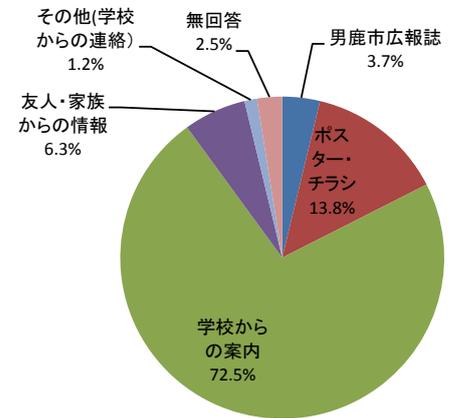
	幼稚園 未満	小学校						その他	合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
男	1	5	7	3	10	6	2		34
女	2	8	1	6	8	5	3		33
無回答			3	3	3				9
合計	3名	13名	11名	12名	21名	11名	5名	0名	76名
構成比	3.9%	17.1%	14.5%	15.8%	27.6%	14.5%	6.6%	0.0%	100.0%



2. 「わくわくドキドキ理科実験教室」をどのようにして知りましたか。(複数回答)

	合計	構成比
男鹿市広報誌	3	3.7%
ポスター・チラシ	11	13.8%
学校からの案内	58	72.5%
友人・家族からの情報	5	6.3%
新聞・ニュース	0	0.0%
秋田大学ホームページ	0	0.0%
その他(学校からの連絡)	1	1.2%
無回答	2	2.5%
合計	80	100.0%

どのようにして知りましたか。



3. 一番わくわくドキドキした実験は何でしたか？(※原文のとおり)

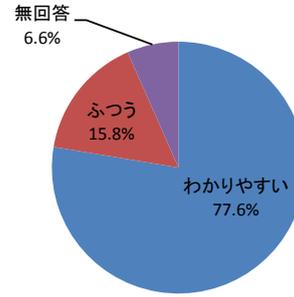
・スライム作り・けいそう土作り・花火
えきたいちっそ
スライムがたのしかったです。
スライム
スライむ
スライムの実験
かぜででんきをつくるじっけん
しゃぼんだまのじっけん
スライムで遊ぼう。
スライムで遊ぼう。
ペットボトルの実験(えきたいちっそ)
ドライアイスや液体ちっ素を使った実験
しゃぼんだま
スライム
スライム
えきたいちっそ
えきたいちっそ
花火の色をつくってみよう。
スライムの実験
スライム
空気電池をつくろう
におい科学
えきたいちっそ
スライム

スライム作り
えきたいちっそではながこおることにドキドキしました。
しゃぼん玉のじっけん
スライム
液体ちっ素で物をかためる実験
スライム実験
空気電池を作ろう
せきたんを使って電池をつくること。
えきたいちっその実験
最後の色が変わる実験
えきたいちっそ
においの科学
においの実けん
スライム
花火の色
スライムです。
スライム
スライム
においの科学です。いろいろなにおいをまぜて、自分だけのにおいをつくれるからです。またやりたいです。
スライムを作ること。
しゃぼんだまのじっけん
しゃぼんだまづくり
すらいむ
スライム
スライム
スライムがたのしかったです。
スライム
スライム
スライム
花火の色をつくろう
花火の色をつくろう
ふうりょくはつでん
スライム
えきたいちっそ
スライム
スライム
えき体チッ素
・えきたいちっそ・炎の色
スタンプづくり
すらいむ
すらいむをつくったじっけん
マローブルー
スライム
スライム
すいそ水のじっけん
スライム
スライム
スライム
はっぼうスチロールでスタンプを作ろう
スライム
火とえきたいちっそ
はっぼうすちろうるを、もやす実験

先生の説明はわかりやすかったですか？

4. 先生の説明はわかりやすかったですか？

わかりやすい	59名	77.6%
ふつう	12名	15.8%
わかりにくかった	0名	0.0%
無回答	5名	6.6%
合計	76名	100.0%



5. その他の感想を書いてください。（※原文のとおり）

・でんじろう的な空気砲
はじめて知ったことが多かった。
作るのはいへんだったです。
電気をつくるじっけん
スライムがもちもちしててきもちよかったです。
スライムをこおらせる。
スライムでえきたいをいれてまぜてないけどかたまった。
・土のかがかく思ったことハッポースチロールがとけることが分かった。
楽しかったです。
身近な物から、あまりふだん見ないものまで、たくさんあって楽しかった。
スライムをいっぱい作りたいです。
小さな子もあそべてたのしかったです。
とてもたのしかったです。
どれもとても楽しかたです。
はなびのいろをつくろうがおもしろかった。
アイスクリームに、火をつけたら、どうなるのか。（どれぐらいでとけるのか）
火の色をもっとじっけんしたい。
・にさんかたんそと、ドライアイスの実験
・スライムが、ちゃんと作れるかなと思ったけど、ちゃんと予想以上にきれいに作れてよかったです。
スライム
はんこをまたやってみたいです。
空気電池すらいむがたのしかったです。
いろいろなことがわかって楽しかった。
たのしかたです。
スライムをこおらせると、どうなるのか。
とうめいのすらいむをつくってたのしかったです。
液体ちっ素の中に、液体（マヨネーズのようなもの）をいれたらどうなるのか。
スライムをこおらす。
大学生の人たちはいつも大学で何をしてるのか。
今日やった実験はやっていないものもあったが楽しかった。
いろが変わる実験をやってみたい。
スライムの実験をしてみたいと思った。
シャボン玉の実験をしてみたいと思いました。
かんそう
スライムを作ったりするのが楽しかったです。
スライム、風力発電
スライム風力発電
はなびの色がいっぱいあったのですごいな。
いろんなじっけんがたのしかったです。
いん石はどうやっておちるのか。こおった花は、おんどをもどすと生花もどりますか。
スタンプ作りが思ったより難しかったです。
ライターの火はどうやってつくか。
アニメーションの作り方など知りたいです。
すらいむのじっけん。

わくわくした。
じっけんがいっぱいあってたのしかったです。
においが、あとでやりたいです。
せんぷうきをまたやりたいです。
でんきのじっけん（かいり）
火花がどうなるかみてみたい。
水は電気を通すのか！
花火の色はほかにつくれるか。
ふうせんでとべるかの実験
小さい生物など宇宙のこと
小さい生物を見たりすること。
風のえいきょう
全部の薬品をまぜて、ゆかにぶちまける
薬品のちょうごうや、薬品にふれたい。
スライムつくるのがときどきした
またすらいむとはんことえきたいちっそをやりたい。
スライム
えきたいちっそで花の花びらをかためたい。
けんだまはどうやってのせられるか。
またすらいむをつくりたいです。またじっけんしたいです。
スタンプを作るのがむずかしかった。
うちかえってやりたい
少しつけるとはっぼうすちろうるが、もえるのですごいと思った。

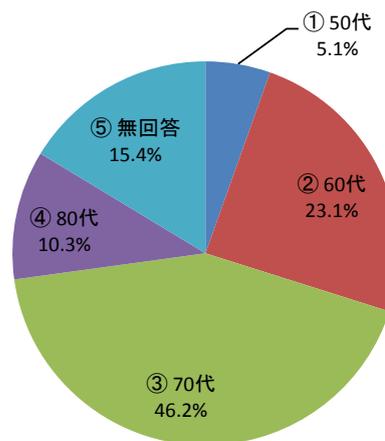
スローエアロビック教室 アンケート集計結果（3会場）

実施日	平成28年6月22日	平成28年6月24日	平成28年7月28日	3会場の合計
会場	若美公民館	船川港公民館	船川北公民館	
参加者数	16名	16名	7名	39名
回収数	16名	16名	7名	39名
回収率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

1. 年齢

	回答数	構成比
① 50代	2	5.1%
② 60代	9	23.1%
③ 70代	18	46.2%
④ 80代	4	10.3%
⑤ 無回答	6	15.4%

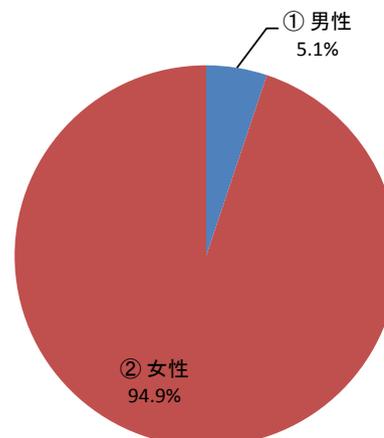
年齢



2. 性別

	回答数	構成比
① 男性	2	5.1%
② 女性	37	94.9%
③ 無回答	0	0.0%

性別

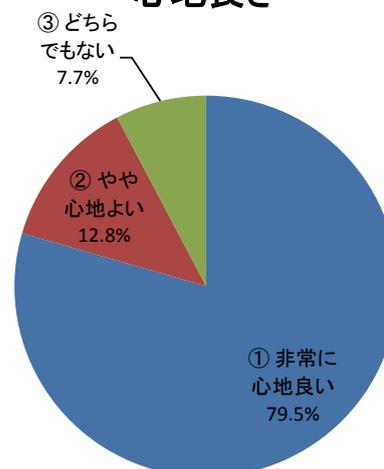


3. スローエアロビックの感想

①心地良さ

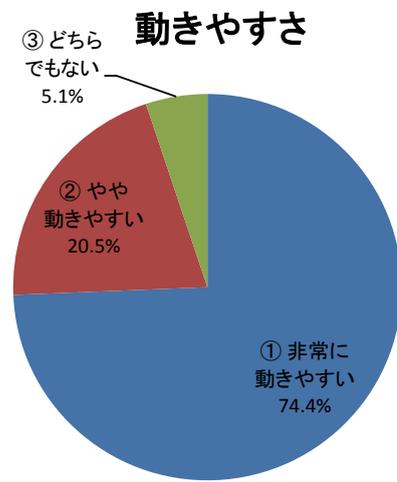
	回答数	構成比
① 非常に心地良い	31	79.5%
② やや心地良さ	5	12.8%
③ どちらでもない	3	7.7%
④ やや心地悪い	0	0.0%
⑤ 非常に心地悪い	0	0.0%
⑥ 無回答	0	0.0%

心地良さ



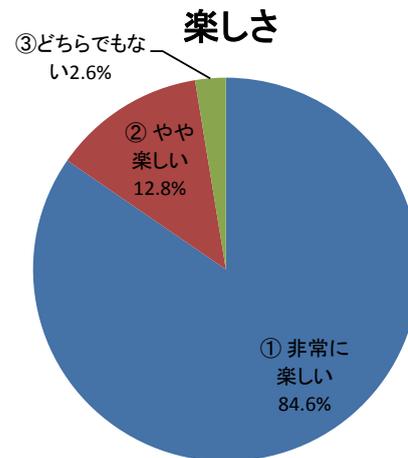
②動きやすさ

	回答数	構成比
① 非常に動きやすい	29	74.4%
② やや動きやすい	8	20.5%
③ どちらでもない	2	5.1%
④ やや動きづらい	0	0.0%
⑤ 非常に動きづらい	0	0.0%
⑥ 無回答	0	0.0%



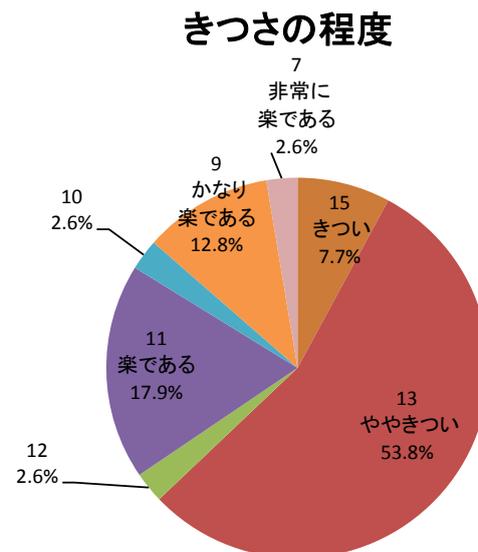
③楽しさ

	回答数	構成比
① 非常に楽しい	33	84.6%
② やや楽しい	5	12.8%
③ どちらでもない	1	2.6%
④ ややつまらない	0	0.0%
⑤ 非常につまらない	0	0.0%
⑥ 無回答	0	0.0%



4. スローエアロビックスの「きつさの程度」はどうか

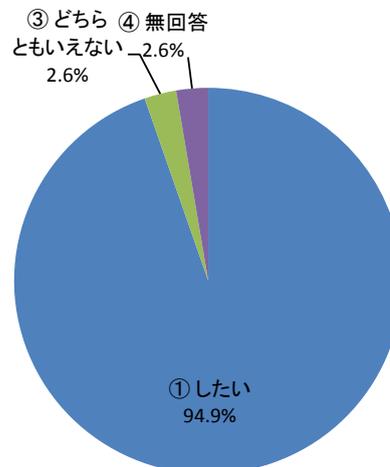
	回答数	構成比
① 20	0	0.0%
② 19 非常にきつい	0	0.0%
③ 18	0	0.0%
④ 17 かなりきつい	0	0.0%
⑤ 16	0	0.0%
⑥ 15 きつい	3	7.7%
⑦ 14	0	0.0%
⑧ 13 ややきつい	21	53.8%
⑨ 12	1	2.6%
⑩ 11 楽である	7	17.9%
⑪ 10	1	2.6%
⑫ 9 かなり楽である	5	12.8%
⑬ 8	0	0.0%
⑭ 7 非常に楽である	1	2.6%
⑮ 6	0	0.0%
⑯ 無回答	0	0.0%



5. 今後も教室に参加したいと思いますか

	回 答 数	構 成 比
① し た い	37	94.9%
② し た く な い	0	0.0%
③ ど ち ら と も い え な い	1	2.6%
④ 無 回 答	1	2.6%

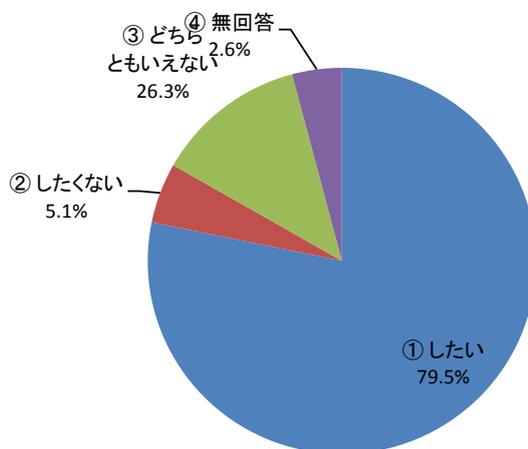
今後も教室に参加したい



6. 今後、有料教室でも参加したいと思いますか（例：1回500円程度）

	回 答 数	構 成 比
① し た い	31	79.5%
② し た く な い	2	5.1%
③ ど ち ら と も い え な い	5	12.8%
④ 無 回 答	1	2.6%

今後、有料教室でも参加したいと思いますか（例：1回500円程度）



7. その他、教室の感想や身体の変化など、ありましたら自由にご記入ください（原文まま）

1	今日とても楽しかった。今後も続けてほしいです。
2	楽しいのでつづけたい。
3	今日はとても楽しいでした。これからもつづけてほしい。
4	とっても楽しいでした。
5	楽しく体操出来て良い！
6	もっと回数やってほしい。
7	楽しく運動しました。

8	もっと回数やってほしい。
9	大変よかった。時間が欲しい。
10	エアロは楽しいのでつづけたい。
11	楽しいので又続けて下さい。
12	音楽にのっての体を動かすことにリズム感が生まれ気分的にも楽しい。 今後ぜひ共続けていただきたい。
13	それなりについて行ける様に思う。機会あれば参加したい。
14	ちょっと無理な面もありますが、みんなと楽しくすごせるので楽しいです。
15	予定していなかったエアロビック楽しかった。
16	体操の後はすっきり気持ち良いです。
17	大変楽しかったです。
18	1年に5~6回はやって下さい。楽しかったです。
19	歌も皆、わかっていたので良かった。特に山本リンダ ステキ！
20	まま、良いと思う。
21	とても楽しく分かりやすい、動きでした。ありがとうございます。
22	とても心地よい気持ちです。
23	楽しかったです。



秋田大学男鹿なまはげ分校

〒010-0595

秋田県男鹿市船川港船川字泉台66-1

男鹿市役所総務企画部企画政策課内

TEL 0185-24-9126 FAX 0185-23-2424

E-mail shakoken@jimu.akita-u.ac.jp

編集・発行 秋田大学男鹿なまはげ分校
秋田大学地方創生センター

平成29年12月